



COVID-19予防対策として、今年度は多くの研修等を中止・変更することとなりましたが、ベーシックレベル研修については、3密を避ける為の工夫と多くの方のご尽力を得て開催しています。

I-③ (6/3)

ベーシックレベルⅠ

【情報活用】NANDA・NOC・NICを活用した看護過程の展開について、記録委員の支援のもと、講義・演習を通して学びました。

【重症度、医療・看護必要度】について理解し、入力の根拠を講義・演習で学びました。

I-④ (7/16)

【集中ケア・救急看護】呼吸・循環・腹部・意識障害の基本的なフィジカルアセスメントについて講義を受けた後、呼吸音聴取・12誘導心電図・神経所見観察の演習を受けました。

【キャリア教育】リアリティショック及びストレスマネジメントについての講義・演習を受け、ディスカッションを通して理解を深めました。

I-⑤ (10/1)

【医療安全】インシデント・アクシデントが起こる原因を復習し、医療事故防止対策について学びました。

【医療機器】基本的な医療機器の操作を理解し、技術の習得に努めました。

【感染対策】標準予防策を復習し、接触予防策との違いを学びました。

【医療機器・集中ケア・救急看護】酸素療法の実際について講義を受け、その後グループに分かれて「NPPV設定・アラーム」「吸引・NHF・NPPVマスク装着」「救急カート」の演習を受けました。



ベーシックレベルⅡ-① 9/3

【救急看護】二次救命処置について、講義、シミュレーションを通して学びました。

【情報活用】看護診断と看護過程について、講義、グループワークを通して学び、課題である受け持ち患者の看護過程の展開に取り組んでいます。

Ⅲ-① (6/18)

ベーシックレベルⅢ

【看護倫理】看護倫理の基本について講義を受け、その後グループに分かれて臨床倫理検討シートに添った事例の分析、検討、意見の交換を行いました。

OSCEⅢ・【救急看護】・【看護研究】 (9/30 10/7)

【OSCEⅢ】休止病舎を使用することで、より臨床感あるOSCEになりました。フィードバックの内容、自己の課題を振り返り、これからの看護実践に活かしていただきたいと思います。

また、お忙しい中看護学科の先生方、教育インストラクター、看護師長の皆様をはじめ運営にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

【救急看護】受講者全員が蘇生シミュレーションを行い、患者急変時に必要な思考・行動パターンと、リーダーとしての役割を認識した対応を学びました。

【看護研究】院内で分散して、動画講義を受講しました。



お知らせ

現在予定されている院内研修

11月26日(木) 8:30~17:00 ベーシックレベルⅡ②
12月11日(金) 15:00~16:30 プリセプター研修③
12月18日(金) 8:30~17:00 ベーシックレベルⅢ②

1月12日(火) 8:30~17:00 IVナース+ベーシックレベルⅠ⑥
2月 9日(火) 14:00~15:30 復帰支援セミナー
3月 5日(金) 13:30~16:30 プリセプター研修①(2021年度)

【研修内容】状況により更に計画から変更する可能性があります。配付される研修案内をご確認ください。

【申し込み方法】研修を受講する方は、ナースナビでの事前申請・承認が必要です。受講者により時間が異なる場合は、研修案内に受講申請について記載していますのでご確認ください。

スキルチェックについて

ベーシックレベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ対象者の方は、ナースナビのスキルチェックの自己評価を12月25日(金)までに入力してください。

*1月に入りましたら、他者評価の依頼をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。



スキルス・ラボ シミュレーターご紹介

スキルス・ラボでは、体験型の学習や実践に近い状況でのシミュレーション演習に役立てていただけるよう様々なシミュレーターを多数備えています。手技の練習やスキルアップにご活用いただけるよう、ご紹介してまいります。今回は「多機能患者モデル」を中心にご紹介します。

フィジカルアセスメントモデル Physiko

コンピューターと連動して総合的にフィジカルアセスメントの基本診察手順を学ぶことができます。

1. 問診・コミュニケーション
2. 瞳孔反射
3. 血圧測定
4. 心音の聴診・脈診
5. 呼吸音の聴診
6. 腸音の聴診
7. 心電図シミュレーション



高機能患者シミュレーター-METI

処置に対する生理学的反応や薬理学的反応を再現する機能が搭載されています。

特徴

- ◆ 状態の設定を行い、脈の触知、呼吸音や心音、腸音の聴取など、実際に観察を行うことができ、換気、心臓マッサージにも反応します。
- ◆ シミュレーターの状態(心電図モニターの波形など)を専用のモニターやプロジェクターを使ってスクリーンに映し、モニター音も出すことができますので、演習時にリアルに体感できます。



レサシアン(旧・新)

心肺蘇生法を練習するための人形です。

『レサシアンQCPR』(新)

Quality of CPR(質の高いCPR)の習得を目的としたモデルです。国際的な推奨方法に従ったBLS(一次救命処置)トレーニングが行えます。連携するスキルレポーターアプリの習得を目的とし、活用することで正確なフィードバックを得られます。

※スマートフォン用のアプリをご自身のデバイスにダウンロードすれば、自身のスキル評価を保存しておくことも可能です。



ハイブリッドシミュレーター SCENARIO

シナリオトレーニングのためのシミュレーターです。

特徴

- ◆ モデルの年齢や性別を変更、容体に合わせた顔色の変化、生態情報モニターとの連動、気道確保や胸骨圧迫などの救急対応、パルスオキシメーターや体温計への反応、咳や嘔吐などシナリオに沿った様々な動きや変化をするため、臨場感をもったシナリオトレーニングが可能です。
- ◆ 手技項目は40以上。
- ◆ 内蔵シナリオをアレンジしたり、独自に作成したシナリオも追加可能。

《内蔵シナリオ例》

- ・アナフィラキシー症状への初期対応
- ・動悸と不整脈(心房細動)のある患者への対応
- ・術後患者(後出血)
- ・誤嚥性肺炎/窒息
- ・腹痛を訴える患者
(イレウスや腹膜炎)



ALSベビー

ALSベビーは3ヶ月の乳児を想定しており、PALS(Pediatric Advanced Life Support)に必要な気道確保、CPR、骨髄輸液、ECGモニタリングに関連するスキルのトレーニングが可能です。



スキルス・ラボ使用について/報告書の提出お願い

- ◆ 使用を希望される方は、看護実践キャリア開発センターに電話で仮予約をしていただいた後、スキルス・ラボ使用許可申請書を提出してください。申請書は**ナースナビお知らせ**に添付しています。
- ◆ スキルス・ラボ内のシミュレーターの一部を貸し出しています。詳しくは看護実践キャリア開発センターまでご相談ください。
- ◆ 今年度より全ての利用に対して**使用報告書の提出**をお願いしています。スキルス・ラボの(施設・機器類の)管理保全の為、何卒ご理解の上、報告書の提出にご協力をよろしくお願いいたします。